

「令和3年度に実施した仕事」の振り返りシート（A：裁量有）

記入日 令和 4 年 4 月 11 日

事業名称		融資事業費〔融資事業〕							
予算科目	款 7	商工費	項 1	商工費	目 2	商工振興費	事業番号	3	
事業の種別	☒ 市単独 ☐ 補助対象 ☐ 市が実施することが法律等で義務付けられているもの(市の上乗せあり)								
担当部署・課長名	産業振興		課		商工		係	課長名	佐伯 芳幸
この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。							施策番号	3 - 4.5	
【施策名】 工業の振興、商業の振興							総合計画書 (ページ)	75.77	
1 この仕事の目的	① 誰(何)を対象にしていますか。			① ①の対象数や量を、あらわすもの(対象指標)					
	市内の中小事業者			市内商工事業所数+α					
	→								
	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に]			② ②の状態になった数・量をあらわすもの(成果指標)					
市内中小事業者の経営の安定。			①融資斡旋実績件数						
→			②融資斡旋実績金額						
③ そのために何をしましたか。			③ ③をどのくらい行いましたか(活動指標)						
運転資金及び設備資金の不足により経営の安定に支障をきたしている市内中小事業者に対して事業資金融資の斡旋を行った。			①融資を必要としている事業者数(申請件数) ②融資必要金額(申込金額)						
→									
2 指標の推移			単位	過去2年間の実績		当該年度	成果目標		
				平成31年度実績	令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度目標	令和5年度目標	
	対象指標	①の数値	件	2,437+α	2,437+α	2,328+α			
	成果指標	②の数値	①件 ②円	62 206,820,000	3 6,000,000	53 161,120,000			
	目標	②の目標値	①件 ②千円	65②207000	65②207000	①65②207000	65②207000	65②207000	
	目標値設定の考え方 継続した資金需要が発生すると考え、現状維持と想定。								
活動指標	③の数値	①件 ②円	①68 ②228,820,000	①3 ②10,000,000	①55 ②173,620,000				
3 経費	事業費(実績)		円	26,696,665	25,973,611	1,779,409	※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費(再任用職員以外) 年間単価は、8,250,000円 時間単価は、4,200円 で計算してください。 【算出根拠】令和2年度決算数値(退職手当組合負担金、共済費も含む。)		
	財源	一般財源	円	3,696,665	2,973,611	1,779,409			
		特定財源(国・都・他)	円	23,000,000	23,000,000	0			
		(うち受益者負担)	円	0	0	0			
	人件費(目安)	所要人数(再任用以外)	人	0.4	0.4	0.4			
		所要人数(再任用)	人	0.0	0.0	0.0			
		職員人件費(再任用以外)	円	3,324,000	3,352,000	3,300,000			
	職員人件費(再任用)	円	0	0	0				
事業費+人件費		円	30,020,665	29,325,611	5,079,409				
4 環境変化等	(1) 開始年度		S51 年度						
	(2) 環境の変化 新型コロナウイルス感染症の発生に伴い、令和2年度は国、都などが実施する実質無利子・無担保ローンの貸付けが誕生し、多くの事業者はその借入を行った。そのため、既存の市制度融資利用者も、当該商品に借り換えを行い、市制度融資の活用は劇的に減少した。しかし、令和3年度については、国、都などの実施する実質無利子・無担保ローン制度の終了に伴い、当市融資制度の利用が増加。今後の環境変化を見極めつつも、市制度融資の制度を運用することが必要である。								

事業名称	融資事業費〔融資事業〕				
担当部署・課長名	産業振興	課	商工	係	課長名 佐伯 芳幸

5 市民等の意見	この仕事に関して、令和3年度中に寄せられた市民・議会等の意見、また、市民・サービス利用者等の実態やその意識について 市制度融資新規利用者からの問合せが多かった。創業融資、特定創業融資の利用に関する問い合わせが多く、チラシ配布やHPの案内等を行った。既存の市制度融資利用者からは、繰上返済により利子補給の有無についての問い合わせなど、新型コロナ融資関連の問合せが多かった。また、新型コロナウイルス感染症関連の補助制度等についての問い合わせが多く、担当省庁等を案内するなどの対応を行った。				
6 市民協働	(1)この仕事の実施にあたり、市民協働に取り組みましたか。取り組んだ場合、取組手法欄の種類から番号を選択し、取組手法欄に番号を記載してください。（複数回答可）				
	☐ 取り組んだ ☒ 取り組まない		取組手法： 【取組手法の種類】 ①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換（広報媒体： ） ⑦後援・場の提供 ⑧その他（ ）		
	(2)令和4年度に向け、さらに適した協働の形態とするために「考え」「気付いた」点				
7 課題	(1)令和3年度に課題とした内容（「令和2年度に実施した仕事」の振り返りシート 7課題（3）を転記） 令和2年度については、新型コロナウイルス感染症の影響により国や都が実施している実質無利子・無担保ローンが時限的に設立されたため、令和2年度に市が拡充したメニューは活用度が少なかったが、令和3年度は国や都の状況を鑑みて幅広い支援策を拡充できるよう検討する。				
	(2)(1)の課題解決に向けた取組や、事務改善など、令和3年度に実施したこと。				
	市制度融資の他、新型コロナ関連の補助制度や国、都等の行う融資制度の案内を行うなど、市民に対して広く広報を行った。また、引き続き東大和市商工会が実施しているマル経融資の事業に対して、補助を行う事業を実施し、市内事業者の経営の安定化を図るための支援策を拡充した。				
	(3)(2)を踏まえた今後の課題（仕事の最適化・合理化の提案） 市制度融資、東大和市商工会マル資について引き続き市民へ周知を続けるとともに、情勢に沿った郵政制度等を検討することが必要である。また、新型コロナウイルス感染症関連の融資制度や保証制度など、引き続き市民へ広報を行う必要がある。				
8	施策貢献状況（この仕事は、総合計画（基本計画）に掲げる課題の解決手段になっているか。） 施策名： 工業の振興、商業の振興 ☒ なっている ☐ 環境の変化等により成果が減少している ☐ 類似の事業が他にあり改善の余地がある 事業名（ ）				
9 今後の方向性	(1)仕事の方向性（「7 課題（3）」の課題及び「8 施策貢献状況」を踏まえた具体的な改革・改善案など） ☐ 拡大 ☒ 現状維持 ☐ 縮小 ☐ 休止 ☐ 廃止 【取組内容】 市制度及び様々な融資制度の活用を市内事業者が選択できるように東大和市商工会と協力して事業の周知を図っていく。また、市の制度の周知に限らず、国や都の新型コロナウイルス感染症対策融資など日々多くの種類の支援策が打ち出されているので、事業者支援として有効なものについては、効果的に市内事業者へ周知を図れるようにする。 (2)上記(1)の取組にあたり、克服すべき問題点、必要な調整・準備等 今後、東大和市商工会と調整し、周知方法等検討していく。また、常日頃から国や東京都の動向を踏まえ、コロナ禍の厳しい状況下にあっても、事業の継続に向けて努力している事業者の後押しとなる情報収集や、支援策の必要について欠かさず実施していく必要がある。				